【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-67186(P2010-67186A)
【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)
【年通号数】公開・登録公報2010-012
【出願番号】特願2008-235198(P2008-235198)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　17/30　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　1/00　２００Ｄ
Ｇ０６Ｆ　17/30　１７０Ｂ
Ｇ０６Ｆ　17/30　３４０Ａ
Ｇ０６Ｆ　17/30　２１０Ａ
Ｈ０４Ｎ　5/76　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年9月9日(2011.9.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の画像からなる画像群を、ユーザー満足度が設定基準よりも高い第１の画像群と、ユーザー満足度が当該設定基準よりも低い第２の画像群とに分類する手段と、
前記第１の画像群に含まれる画像の枚数が指定枚数に達しない場合、当該指定枚数に達するまで、前記第２の画像群の中から前記ユーザー満足度が高い画像を抽出する手段と
を備えることを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記ユーザー満足度は、露出不足、色バランス、ぶれ・ぼけ、構図不良の少なくとも１つを含む不満足要因の有無に基づいて決定されることを特徴とする請求項１記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記抽出する手段は、ユーザーにとって許容可能な不満足要因の指定に基づいて、前記ユーザー満足度が高い画像を抽出することを特徴とする請求項１又は２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記不満足要因は、追加又は削除できることを特徴とする請求項２又は３に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記設定基準は、前記指定枚数に応じて変更可能であることを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項６】
複数の画像からなる画像群を、ユーザー満足度が設定基準よりも高い第１の画像群と、ユーザー満足度が当該設定基準よりも低い第２の画像群とに分類するステップと、

前記第１の画像群に含まれる画像の枚数が指定枚数に達しない場合、当該指定枚数に達するまで、前記第２の画像群の中から前記ユーザー満足度が高い画像を抽出するステップと
を含むことを特徴とする画像処理方法。
【請求項７】
コンピューターに、請求項６記載の方法を実行させるためのプログラム。
【請求項８】
複数の画像それぞれに対するユーザーの評価結果に従い、前記複数の画像から画像を抽出する抽出手段と、
抽出画像の数を指定させる指定手段と、
前記抽出手段による抽出結果、前記指定手段により指定された抽出画像の数に達しない場合、許容可能な要因を選択させる選択手段と、
前記選択手段により選択された結果に従い、前記複数の画像から画像を追加抽出する追加抽出手段と
を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項９】
前記画像の抽出は、パーソナルコンピュータもしくは前記パーソナルコンピュータとネットワークを介して接続される画像データベースにおいて実行されることを特徴とする請求項８に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
前記ユーザーの評価は、手動で設定されることを特徴とする請求項８に記載の画像処理装置。
【請求項１１】
複数の画像それぞれに対するユーザーの評価結果に従い、前記複数の画像から画像を抽出する抽出ステップと、
抽出画像の数を指定させる指定ステップと、
前記抽出ステップによる抽出結果、前記指定ステップにおいて指定された抽出画像の数に達しない場合、許容可能な要因を選択させる選択ステップと、
前記選択ステップにおいて選択された結果に従い、前記複数の画像から画像を追加抽出する追加抽出ステップと
を有することを特徴とする画像処理方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像処理装置、画像処理方法、及びプログラム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】